

鎮魂の誠を捧げる

《2026年》
8/2

ふるさと祭「イチャルパ」

白糠アイヌ協会（天内重樹会長）主催のふるさと祭「イチャルパ（先祖供養祭）」がウレシパチセと東山公園アイヌ弔魂碑前広場で開かれ75人が参加しました。ウレシパチセではカムイノミ（火の神への祈り）が行われ、同広場では白糠アイヌ文化保存会と春採アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会が古式舞踊を奉納しました。最後は全員の輪踊りで祭りを締めくくりました。



厳かな雰囲気の中で行われたイチャルパ

乾杯から生まれる交流

《2026年》
8/1

しらぬかはしご酒大会

スタンプラリー形式で飲食店を飲み歩く「しらぬかはしご酒大会」が町内9店舗を会場に開かれました。同大会は、3コースの中から1つのコースを選んで1時間半以内に3店舗を『はしご』するもの。毎年参加しているという東京都在住の山本茂雄さんは「はしご酒がきっかけで友人ができるので、毎年楽しみにしているイベントです」と笑顔で話していました。



笑顔で乾杯し、会話に花を咲かせる参加者たち

旬の味覚を堪能

《2026年》
8/5

驚きの森で
ブルーベリー狩り

上茶路の驚きの森で、7月下旬から約1か月間、ブルーベリー狩りが行われました。完全無農薬で育てられたブルーベリーを味わおうと多くの人が足を運び、自然が育んだ甘味を堪能しました。

8月5日に釧路市から訪れた阿部一美さんは「市販のものよりも大きくて甘く、とてもおいしい。無農薬なので安心して食べられる」と絶賛していました。



大粒の実を摘み取り、笑顔で頬張る来場者

尊い犠牲に哀悼の意を示す

《2026年》
8/4

殉公者追悼式

戦争で命を捧げた方を追悼する殉公者追悼式がやまびこ会館で開かれ、関係者など34人が参列しました。式では棚野孝夫町長の式辞と、来賓による追悼のことばの後、参列者が献花を行いました。最後に遺族代表の中河敏史さんが「戦争の悲惨さと恐怖、平和の尊さとありがたさを語り続け、継承する責務を果たしたい」とあいさつし、平和への誓いを新たにしました。



遺族を代表してあいさつする中河さん

白糠の夏を彩る伝統行事

《2026年》
7/26

海中みこし渡御

夏の勇壮な伝統行事「海中みこし渡御」が白糠厳島神社例大祭の最終日に行われました。例大祭初日の24日から町内各地を練り歩いた一行は、威勢のいい掛け声とともに海へと入り、荒波をもとめせず、約30分間、漁業の発展と安全操業を祈願しました。沿岸には多くの見物客が訪れ、息の合った動きで海中を進む担ぎ手たちの姿に見入っていました。



波しぶきを受けながら海中を進む担ぎ手たち

海中みこし渡御の会場をきれいに

7月22日、海中みこし渡御の会場となる白糠漁港前浜で、白糠神輿会（沢木亮太会長）と白糠漁協青年部（日下博文部長）が清掃活動、有限会社高原重機（片山辰夫社長）が整備作業行いました。清掃活動には40人が参加し、ごみなどを一つ一つ丁寧に拾いました。整備作業は同社の職員が重機を使い、通路を整えていました。



海の環境美化に貢献

《2026年》
7/29

庶路こども園が
海上保安庁から感謝状

庶路こども園（漆崎高理事長）は、庶路幼稚園時代の平成20年から園児と職員による恋間海岸の海浜清掃を実施し、海をきれいにするための環境整備に貢献したとして海上保安本部釧路基地（戸坂光伸基地長）より感謝状が贈られました。釧路管内では初の表彰です。表彰式には海上保安庁のキャラクター「うみまる」と「うーみん」も参加し、園児を喜ばせました。



表彰を記念して全員で記念撮影

いじめのない学校づくりへ

《2026年》
7/28

子ども会議2026

いじめの撲滅に向けて話し合いを行う、白糠町「子ども会議2026」が白糠高校で開かれました。町内の小中・義務教育学校の児童生徒と白糠高校の生徒計12人が参加し、各校で実践しているいじめ防止の取り組みを発表しました。グループワークも行われ、いじめの事例を基に原因や対応について意見を交わし、より良い学校づくりに向けて理解を深めました。



いじめのない学校づくりに向けて話し合う児童生徒たち